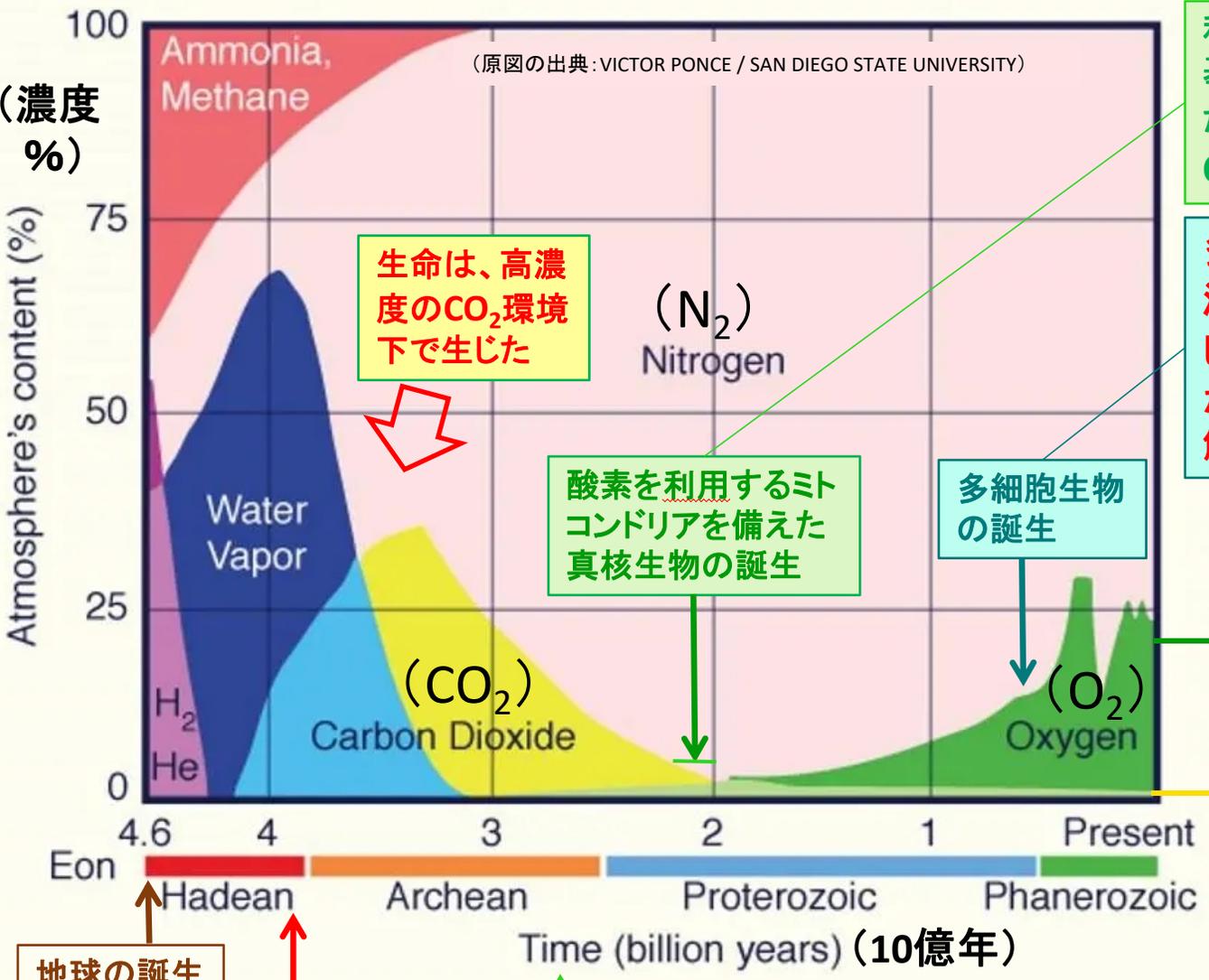


細胞は、5%程度の高濃度の二酸化炭素(CO₂)に包まれなければ生きられない。それは、細胞が誕生した頃の地球の大気組成がそうだったからである。



5%のCO₂濃度に維持される培養器



生命は、高濃度のCO₂環境下で生じた

酸素を利用するミトコンドリアを備えた真核生物の誕生

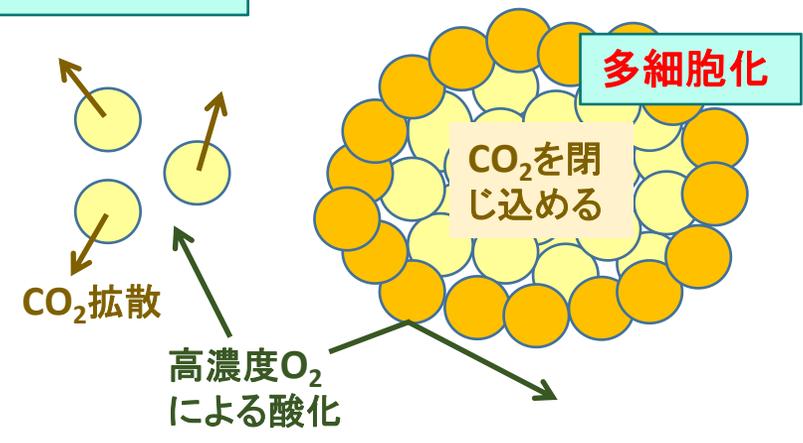
多細胞生物の誕生

私たちの細胞(真核細胞)の基本形は、この頃に完成したため、細胞自体は5%前後のCO₂濃度を前提としている。

多細胞になった理由は、減少を続けるCO₂を確保しつつ、増加を続けるO₂から逃れるためであると解釈できる【新理論】

O₂濃度: 現代は 20.9%

CO₂濃度: 現代は 0.04%



私たちは体内のCO₂を逃がし過ぎてはいけない。ゆっくりと息を吐いたり、比較的低酸素の環境中に住むことによって健康度が向上する。